



Enterprise Architect on Mac OS X setup guide

---

*by SparxSystems Japan*

Mac OS X 環境での利用設定 マニュアル

(2016/10/12 最終更新)



## 1. はじめに

このドキュメントでは、Enterprise Architect を Mac OS X で動作させるための設定について説明したドキュメントです。なお、対象環境が Mac OS X v10.6 (Snow Leopard) 以降であることもあり、このドキュメントでは OS X ではなく Mac OS X と表記しています。

Enterprise Architect は Windows 環境専用開発されたソフトウェアです。そのため、Windows 環境以外では動作せず、利用することはできません。

Windows 専用のソフトウェアを、Mac OS X (および Linux) で動作させるミドルウェアとして、CrossOver Mac (および CrossOver Linux) があります。

CrossOver Mac

<https://www.codeweavers.com/products/crossover-mac/> (開発元・英語)

<https://www.netjapan.co.jp/e/product/other/com/> (日本における代理店)

Enterprise Architect も、この CrossOver Mac を利用することで、Mac OS X 上でも動作するようになります。

## 2. 注意

なお、CrossOver は、オープンソースのミドルウェア Wine を利用していますので、Wine を利用することでも、Mac OS X 環境上で Enterprise Architect を動作させることができる可能性が高いです。Wine 環境での動作については、PDF ドキュメント「Linux 環境での利用設定 マニュアル」の第 5 章をご覧ください。

Mac OS X 環境で利用する場合、Enterprise Architect 以外に複数の Microsoft 製コンポーネントをインストールする必要があります。これらのコンポーネントには個別の使用許諾 (EULA) が存在し、同意しなければ利用できないものがあります。Enterprise Architect の動作に必要なコンポーネントの全ての使用許諾に同意ができない場合には、Enterprise Architect を Mac OS X 環境で動作させることはできません。

なお、インストールするコンポーネントはインターネット経由で自動ダウンロードしますので、インターネット環境と接続し通信可能な環境であることが必要です。

また、この CrossOver Mac 上で動作する Windows アプリケーションは、Windows で動作している状況と同じ扱いになります。例えば、さまざまなショートカットキーで利用している「ALT キー」は、そのまま ALT キーの入力が必要です。CrossOver Mac を利用していると、既定の設定では Command キーが ALT キーに割り当てられていますので、Command キーを利用して ALT キーの代わりにできます。

(キーの割り当てのカスタマイズは、CrossOver Mac の機能であり、弊社サポートおよびこのドキュメントの範囲外です。)

### 3. 必要な環境

Enterprise Architect を Mac OS X で動作させるために必要な環境は、次のとおりです。

- ・ Mac OS X v10.8 以降
- ・ Enterprise Architect 12.1 日本語版 ビルド 1224 以降インストーラー
- ・ CrossOver Mac (15.0.1 以降)あるいは Wine (1.8 以降)

CrossOver Mac は、評価版を以下のページからダウンロードすることができます。評価版は、製品版を購入すると継続して利用できます。

(弊社では CrossOver Mac を販売しておりません。また、CrossOver Mac のセットアップや動作に関するご質問は弊社サポートの範囲外となり、承ることはできません。)

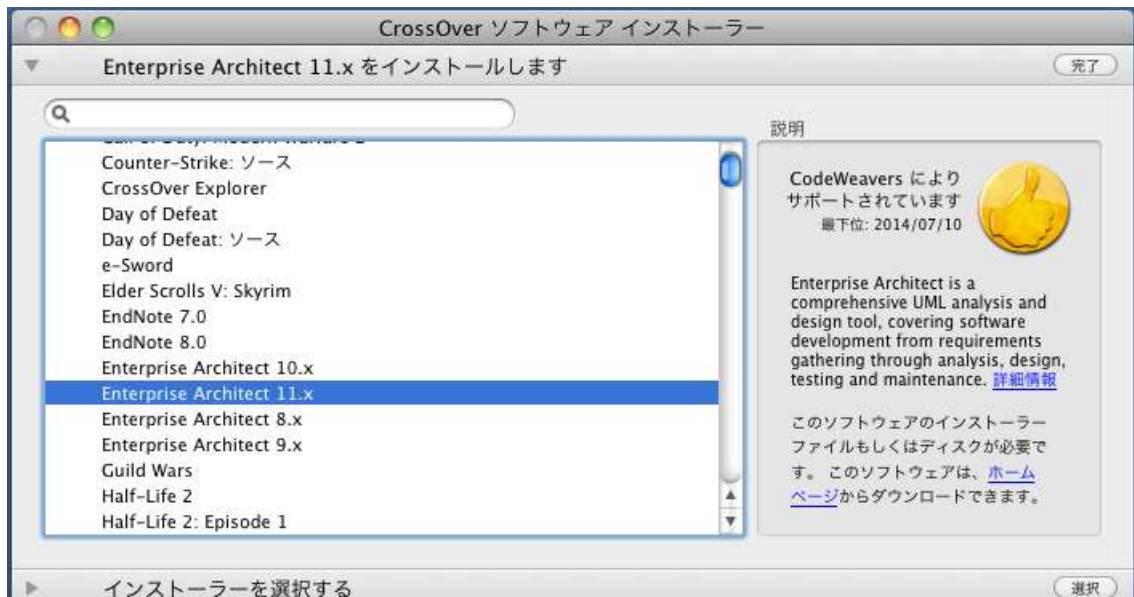
<http://www.codeweavers.com/products/>

### 4. インストール

まず、CrossOver Mac をインストールします。インストールを完了後、アプリケーションフォルダ内の CrossOver を起動し、Windows アプリケーションのインストールを選択して下さい。

「CrossOver ソフトウェア インストーラー」が起動しますので、インストールするアプリケーションの一覧から「Enterprise Architect 11.x」を選択して下さい。(Enterprise Architect 日本語版の Mac OS X での対応バージョンは 12.1(以降)ですが、11.x を選択して下さい。もし、CrossOver Mac のバージョンが上がり、「Enterprise Architect

12.x」が選択肢に表示された場合には、「Enterprise Architect 12.x」を選択して下さい。)

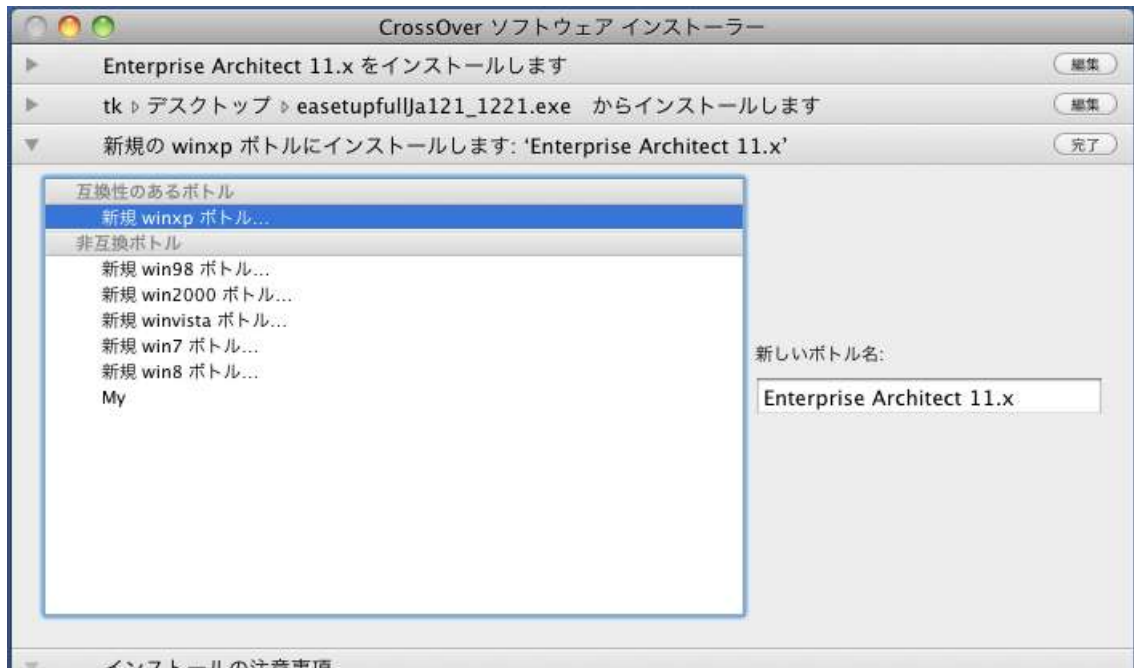


次に、「インストーラーを選択する」と表示されている部分をクリックします。表示される部分にある、「インストーラーファイルを選択」をクリックして、Enterprise Architect 日本語版のインストーラーのファイルを指定します。

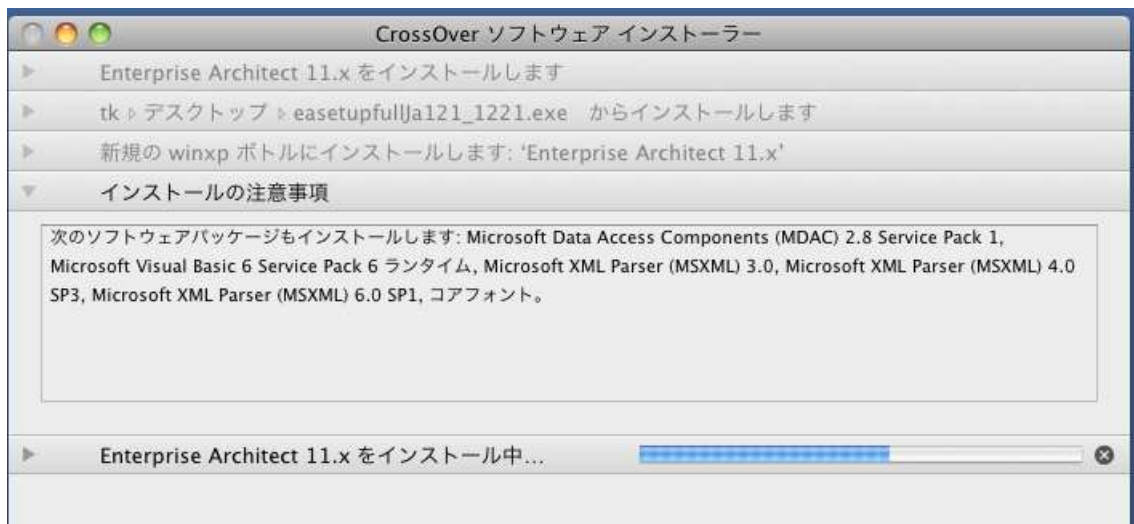


インストールする「ボトル」(CrossOver における管理の単位)については、既定値として選択されるはずの、Windows XP の新規ボトル のままにしてください。必要に応じて名前

を変更して下さい。



以上の設定が終わったら、右下の「インストール」のボタンを押して下さい。インストール処理が開始されます。



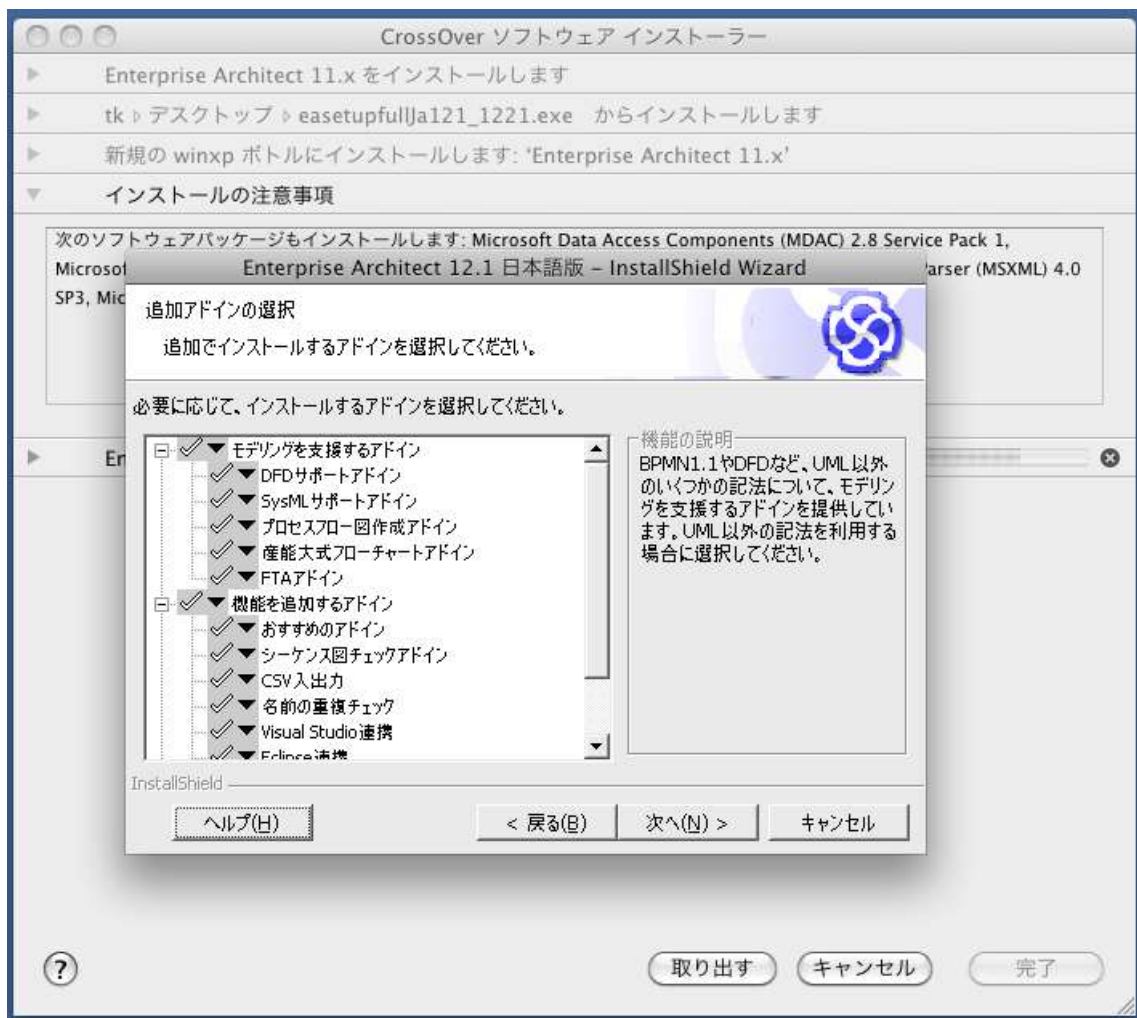
インストールの途中で、Microsoft 製のいくつかのコンポーネントの使用許諾(EULA)が表示されますので、内容について確認し、同意できる場合にはインストールを続けて下さい。また、MSXML や Visual Basic ランタイムなどのインストーラが途中で自動起動しますので、既定の設定でインストールして下さい。

Microsoft 製のコンポーネントのインストールが完了すると、Enterprise Architect のインストール画面が表示されます。Enterprise Architect のインストールにつきましては、PDF ドキュメント「Enterprise Architect インストールマニュアル」をご覧ください。

Enterprise Architect のインストールでは、以下の点に注意して下さい。

- ・ インストール先は既定値のまま、変更しないで下さい。
- ・ 「追加アドインの選択」画面で、「日本語文字列解析」はインストールしないで下さい。

次の画面は、インストール中の画面例です。Windows 環境での表示とアイコンなど異なる部分があります。場合によっては、CrossOver のダイアログの後ろにインストーラーのダイアログが表示される場合がありますので注意して下さい。



場合によっては、Enterprise Architect のインストールが正常に完了してインストーラーの画面が閉じた後、CrossOver の以下のような画面が表示されます。インストールは正常

に行われていますので、「この手順をスキップします」を選択して下さい。



インストールが完了したら、右下の「完了」ボタンを押し、画面をいったん閉じます。

Enterprise Architect 日本語版では、さらに追加のコンポーネントの登録が必要です。再度 CrossOver を起動し、「CrossOver ソフトウェア インストーラー」の画面の「インストールするアプリケーションを選択する」のグループにある一覧内で「実行時サポートコンポーネント」グループを展開して下さい。



追加でインストールが必要なアプリケーションは次の通りです。なお、梅フォントはインストールしなくても動作しますが、インストールした方が見た目が良くなります。

- Microsoft Jet 4.0 Service Pack 8
- Microsoft .NET Framework 2.0 Service Pack 2
- Microsoft Visual C++ 6.0 (再頒布可能)
- 梅フォントパッケージ
- また、環境によっては以下のアプリケーションのインストールが必要な場合もあり

ます。正しく動作しない場合、下記のアプリケーションもインストールしてください。

- MSXML 3
- MSXML 4
- MDAC 2.8

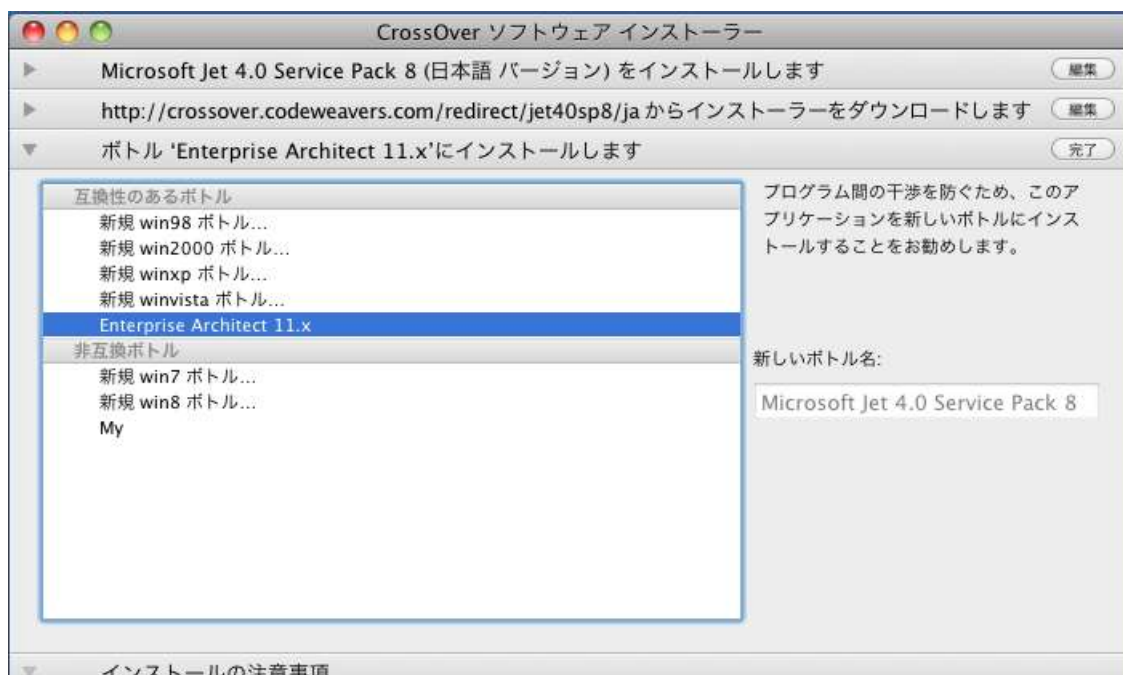
インストールの手順は共通です。以下、「Microsoft Jet 4.0 Service Pack 8」を例に説明します。

まず、インストールする対象のコンポーネントを一覧から選択します。「検索」欄を利用し、上記の名前の一部を入力して絞り込むと効率的です。



次に、「インストールするボトルを選択して下さい」をクリックし、先ほど Enterprise Architect をインストールしたボトルを選択します。





その後、右下の「インストール」ボタンを押します。「インストールが完了しました」の画面になれば、該当のコンポーネントのインストールが完了しています。

他のコンポーネントについても同様の手順です。コンポーネントによっては、再起動を要求される場合がありますが、再起動を選択して下さい。(Mac OS X 環境全体の再起動ではなく、CrossOver 内の仮想 Windows 環境の再起動が行われます。)

すべてのインストールが完了したら、CrossOver のメニューから Enterprise Architect を実行できます。実行後、Dock に追加しておく便利です。



## 5. 補足

Mac OS X 環境における、いくつかの補足事項です。

## フォント関連の設定について

Mac OS X 環境では、フォントが異なるなどの差異があるため、Windows 環境と表示が異なります。以下の設定を変更すると、ダイアグラム内の文字が見やすくなるかもしれません。

Enterprise Architect を起動し、「ホーム」リボン内の「オプション」パネルにある「ユーザー」を実行してオプション画面を表示します。「書式設定」グループにある「文字をアンチエイリアス処理」「テキストを縮小して表示」「要素名を太文字」のチェックを外してください。また、「描画処理」は「拡張 - 1」を選択して下さい。



## DBMSリポジトリの利用について

Mac OS X 環境上の Enterprise Architect から、外部の DBMS リポジトリを利用することも可能です。この場合には、対象の DBMS リポジトリに対応する ODBC ドライバをダウンロードし、ポトルにインストールする必要があります。ODBC ドライバをインストールするには、「CrossOver ソフトウェア インストーラー」の画面で「その他のアプリケーション

ョン」を選択して下さい。その後、「インストーラーを選択する」をクリックし、対象の ODBC ドライバのインストーラーを指定して下さい。

インストール後、Windows 環境の場合には、「管理ツール」内の「データソース (ODBC)」から DBMS サーバとの接続設定を行いますが、CrossOver 環境の場合には Windows のスタートメニューがありませんので、呼び出すことができません。そのため、Enterprise Architect 「プロジェクト」リボンの「独自に追加したツール」パネル内にある「ODBC データソース」の項目を実行し、ODBC に関する設定を行って下さい。(この設定自体は Windows 上の Enterprise Architect と共通です。詳細な手順などは Enterprise Architect のヘルプファイルをご覧ください。)

○改版履歴

2015/12/01 初版。

2016/10/12 バージョン 13.0 のリリースに伴い、内容を更新。